

この学校にわたしたち

2023. 2. 8 NO 53

めっちゃくちや、褒められたんさ

ある子が朝学校に来てすぐ「昨日、お母さんにめっちゃくちや、褒められたんさ」と担任に嬉しそうに話してくれたそうです。理由は家に帰ってすぐに一生懸命に宿題をしたからだそうです。その話を私は担任から聞かせてもらいました。理由は些細なことかもしれませんし、当たり前のことかもしれません。しかし、きっとこのお母さんはこの子の姿を見て、飛び上がるほど嬉しく思い、“めっちゃくちや”褒めたのでし



ょう。そして、この子は褒められることがとても嬉しかったのでしょう。褒めるということは、褒めたお母さんもこの子も、そしてその話を聞いた担任も、私も嬉しくなります。…喜びは連鎖をするのだと感じました。褒めるという行為には2種類あると言われます。1つは「条件褒め」と言われるものでお手伝いや宿題ができた時に使うもので「えらかったね」とよく言うものです。もう1つは「無条件褒め」と言われるもので、「生まれてきてくれてありがとう」など存在そのものを褒めるというものです。「無条件褒め」の方が、自分は大切にされていると感じることができ、自己肯定感が高まると一般的には言われますが「無条件褒め」は思っただけでもいつもいつも褒めることは難しいと思います。

大切なことは親や教師から“また叱られるのでは…”と子どもが感じるのではなく、家庭も学校もその子にとってホッとできる場であるかということではないでしょうか？少し前のことですが、別のある子が朝、校長室に入る時「ただいま」と言って入ってきました。私はその言葉にとっても感激しました。話を聞いてみると「校長室がホッとできる」とのことでした。これからも子どもにとって学校・教室・校長室が“安心感の基地”であってくれるように努めていきたいと思ひます。

卒業アルバム用の写真を撮影しました！

桜の枝の先には春に咲く芽がふくらみを増してきました。7日(水)の朝、6年生の卒業アルバムに載せる縦割り班の写真を撮影しました。春は出会いと別れの時期と言われますが、「もうそんな時期なのだな」とふと思いました。子どもたちにはハッ山小のこのメンバーで活動してきた思い出

を忘れないでほしいと思ひます。在校生にも順次、学校から写真をプレゼントします。楽しみにしててくださいね。

